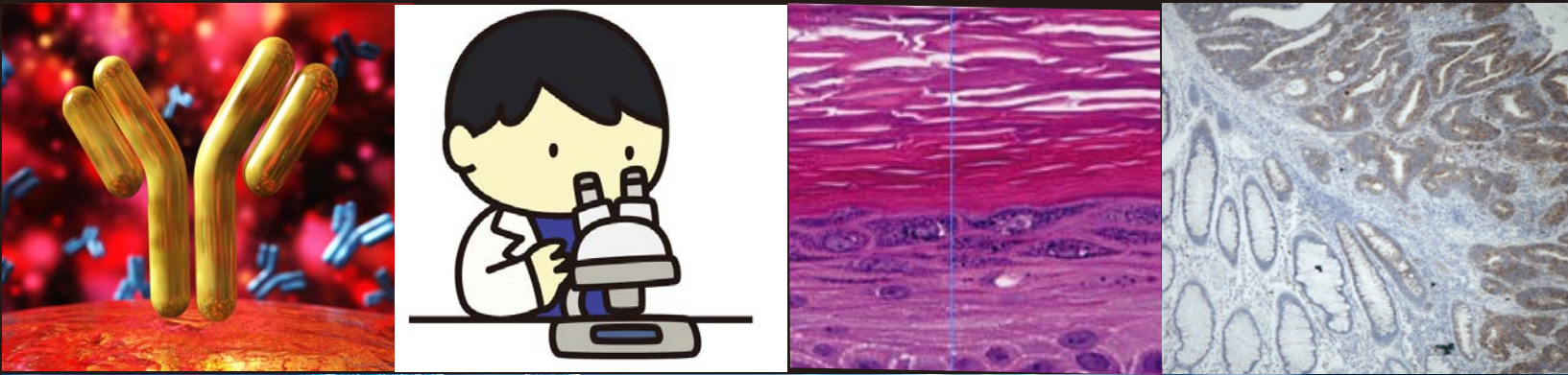


研究支援病理受託サービス



信頼いただける質の高い【研究支援病理受託】サービス

非臨床から臨床までの病理標本作製・各種染色・組織解析評価を受託します。
最近では特に分子病理分野、再生医療関係の標本作製、空間トランスクリプトーム / シングルセル空間解析用解析用までの受託実績が増えてきております。
日本初の「多重蛍光免疫染色」の受託も開始します。
経験豊富なスタッフが試験コンサルティングを含めた対応をしております。



研究支援病理受託サービス

皆様の研究のお役に立つ病理受託サービスを用意しております。

臨床機関、非臨床機関からの基本的な病理のご依頼から分子病理（免疫染色、ISH）、再生医療関係、遺伝子検査用病理材料作製、診断・解析・評価までと広い分野での依頼をお受けしています。臨床検体は当社の登録衛生検査所の機能で受託します。

また、研究のための臨床検体材料準備、免疫染色用抗体作製、HE染色や免疫染色済み標本の電子顕微鏡撮影（NanoSuit）等周辺サービスも準備しておりますので、複数のサービスを組み合わせるお問い合わせ、「こんなことはできないか？」「どのように試験を組み立てたらいいのか？」等、お気軽にお問い合わせください。経験豊富なスタッフがweb/電話会議等で丁寧に対応させていただきます。



【基本病理技術】.....	4ページ
• ホルマリン固定パラフィン包埋（FFPE）標本、凍結包埋標本 / 脱灰作業 / HE染色、特殊染色（30種類以上）	
【分子病理関係】.....	6ページ
• 免疫染色条件検討	
• カタログ抗体染色（抗体メーカープロトコール）	
• 蛍光多重染色（市販品での受託、その他当社での蛍光標識ラベル&最大30重染色等）	
• RNA-Scope/BaseScope（二重染色含む）	
【再生医療（培養材料）】.....	8ページ
• 三次元培養モデル組織（上皮、角膜、オルガノイド、スフェロイド）	
【Information & Communication Technology】.....	8ページ
• Digital Pathology	
• Digital Technology	
• Digital Data 納品	
• 病理画像クラウド	
• WEB コンサルテーション	
【病理標本の診断・解析・評価】.....	9ページ
• 病理解析・評価	
• 臨床病理医による診断	
【空間解析ツール受託解析サービス】.....	10ページ
• 空間解析ツールの比較	
• 空間解析ツール用の標本作製の概要	
【遺伝子検査用関連病理】.....	11ページ参照
• NGS等での連続薄切標本	
• RNA抽出～品質確認	
【その他受託サービス】.....	11ページ参照
• 連続・亜連続薄切	
• 2次元培養細胞（CBMA：Cell Block Micro Array）	
• CTMA法（Clipping Tissue Micro Array）	
【付属サービス】.....	12ページ参照
• 臨床検体材料販売	
• モノクローナル抗体作製：Rabbit Monoclonal Antibody、Mouse/Rat Monoclonal Antibody	
• 電子顕微鏡（Nano Suit 撮影）：HE染色、免疫染色済み標本の電子顕微鏡撮影	
• ヒト由来がん幹細胞スフェロイド PDSX モデル試験サービス	

依頼頂いている顧客層

- ▶ 製薬企業
- ▶ 化粧品企業
- ▶ 臨床検査薬企業
- ▶ バイオベンチャー
- ▶ 各種財団研究部署
- ▶ 食品関係企業
- ▶ CRO
- ▶ 高官庁（機関）
- ▶ 教育機関（研究室）
- ▶ 医療機関 etc.

受託サービスの流れ (概要)



non Clinical

Clinical

Materials

Staining

HE 染色

特殊染色

【特殊染色】
国内 TOP レベルの 30 種類以上の受託が可能です。目的に応じた染色についてはお問い合わせください。

受託材料・染色種

免疫染色染色 条件探索

免疫染色 多重免疫染色含む

biotechnique / ACD RNAscope/BaseCope

Page 6 参照

Page 6 参照

Page 8 参照

分子病理関係

【免疫染色】（精度を追求し基本全自動染色装置で実施します。用手法での受託も可能です）

【染色条件探索サービス】

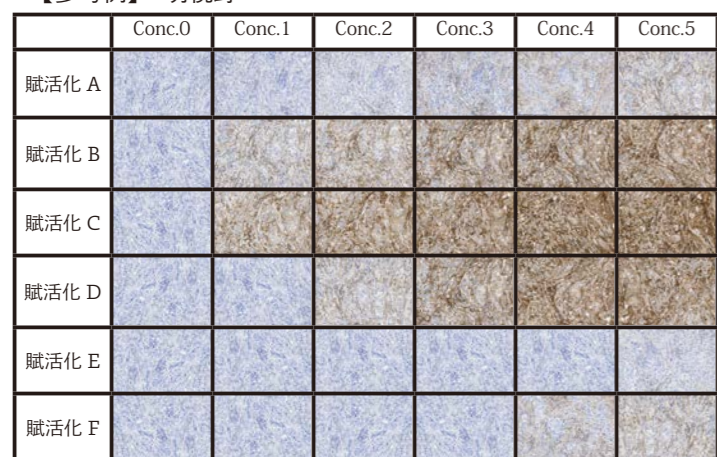
免疫染色に使える抗体なのか、さらに良い染色条件が無いかの探索します。パッケージ化されているお得なセットです。事前に打合せた計画書に沿って実施し、結果は試験報告書にて報告します。

材料	検討条件数	検討内容	
		前処理	抗体濃度
パラフィン	3 6条件	6条件	6濃度
	2 4条件	4条件	6濃度
	1 2条件	2条件	6濃度
凍結	固定組織	1 8条件	3条件 6濃度
		1 2条件	2条件 6濃度
		6条件	1条件 6濃度
	未固定組織	1 8条件	3条件 6濃度
		1 2条件	2条件 6濃度
		6条件	1条件 6濃度

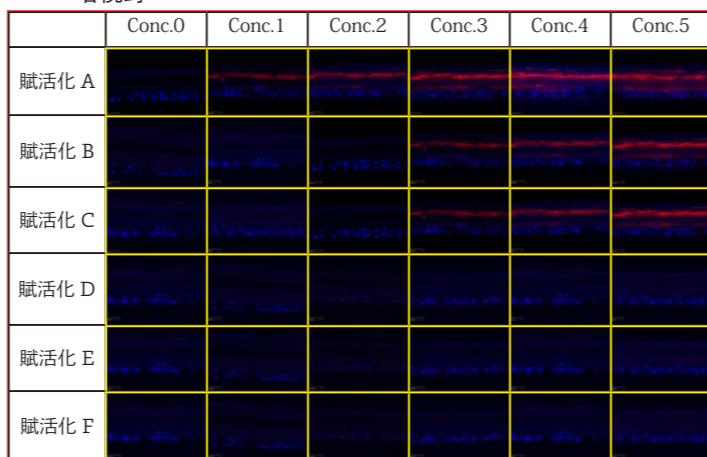
市販抗体や自社開発した抗体が研究に使用できるかという事前コンサルティングを含め、試験計画書を依頼者に承認いただき作業に入ります。
納品物は以下となります。
・試験計画書、試験報告書（写真付き報告書：書面およびデジタルファイル）
・染色済みスライドと試験報告書に使用した染色画像ファイル
・オプション；染色済みスライドのWSI画像
多重染色（明視野・暗視野）での検討も可能です。詳しくはお問い合わせください。
本サービス成功報酬制ではありません。結果を成果として納品させていただきます。

注意事項：WB、ELISA で使用できても免疫染色で使用できるとは限りません。一般的に免疫染色に利用できる抗体の取得率は数%にも満たないと報告されています。

【参考例】 明視野



暗視野



- ①依頼に際しては、対応抗原が発現しているコントロール組織または細胞、使用する抗体をご準備ください。その他の、試薬、消耗品は弊社の標準品を使用します。
- ②試験報告書には、上のような写真と判定結果が記載されます。また、抗体の特異性を考慮した抗体の使用可能可否の考察、更に使用可能と考察できる際の提案抗体濃度等も記載されます。
- ③使用したプロトコルも記載されますので、染色を依頼者ご自身で実施されるか、引き続き弊社にご依頼いただくことをご選択できます。

【メーカープロトコルがある受託サービス】

抗体製造メーカーのプロトコル（Leica社：BOND-RX用）がある1次抗体を用いて明視野（DAB）染色します。まずは、ご希望の染色抗体種をお問い合わせください。動物種・抗体があれば非常にお得なサービスです。

1次抗体（代理購入も可能）とコントロールスライドは依頼者側で準備ください。

取り扱い世界的に著名な抗体メーカー含めて4,000種類を超えます。

代表的な抗体メーカー：Cell Signaling Technology、Abcam、Leica

常に新しい抗体が上市していますので、都度お問い合わせいただけますようお願いいたします。

その他動物はご相談ください：Monkey, Cow, Dog, Hamster, Zebrafish, Bird, Pig 等幅広く対応できる抗体もあります。

分野	対応	全自動染色装置対応	用手法
非臨床	マウス・ラット	2,000種類以上	600種類以上
臨床	ヒト	2,000種類以上	用手法プロトコルを全自動免疫染色装置に切り替える検討も受託可能です。

明視野で1次抗体の動物種が異なれば（MouseとRabbit）2次抗体を組み合わせることで2重染色が可能です。

また、最近ではCell Signaling Technology、Abcam、Proteintechと各種蛍光物質をダイレクトラベルした抗体が上市されてきております。BOND-RXの対応可否に限らず、抗体濃度を数濃度検討することで、さらに多くの蛋白検出が可能になってきて

います。



【免疫多重染色】

同一病理標本で、同時に多くの抗原で空間的な発現解析を行う研究の需要が増えてきています。従来免疫染色は、同一病理組織標本上で免疫染色できる数と手法には多くの制限がありました。本件の詳細に関しては、別冊の「**多重免疫染色受託サービス**」のパンフレットを御覧ください。ここでは、簡単な説明とさせていただきます。

弊社は蛍光多重染色の需要に対応するために、浜松ホトニクス社のMoxiePlexを導入し、皆様の研究にお役に立てる以下のサービスを開始しております。



【多重染色市販キットでの受託】

以下の市販キットでの受託が可能です。最大6～8個のマーカの同時検出が可能です。

- SignalStar™ Multiplex（Cell Signaling Technology社）
- Immuno8 FixVUE™（Ultivue社）
- Spatial Amplification Kit（詳しくはお問い合わせください）
- RNAScope™ Multiomic LS Assay（biotechne/ACD：RNAと蛋白の検出）

すべて、世界的に多くのエビデンスがあるキットです。各社が準備した数多くのパネルの中から任意のマーカを選択して、パネルキットで可能なもの、ユニバーサルに市販抗体を組み合わせることが可能である等の特徴があります。

しかし、上記で対応できない抗体、研究で作製されたオリジナルな抗体で行いたい、凍結標本で行いたい、さらにはもっと多くの抗体を同時検出したいといったご要望に弊社のオリジナルの技術で受託ができるようになりました。

下記【市販ダイレクトラベル抗体の利用】、【抗体へのダイレクトラベル】と【ストリッピングまたはクエンチング】で最大30種の抗体を同時検出できます。

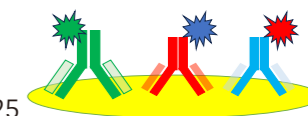
【市販ダイレクトラベル抗体の利用】

市販の免疫染色に利用可能なダイレクトラベル抗体を利用するメリットは以下の様に多彩です。

FFPE検体だけでなく、凍結検体にも対応するものが選択可能な場合もあります。

市販品の対応項目数は標識がAlexaやCoraLite関係だけでも以下のように増えてきています（2025年10月時点弊社調査）

抗体メーカー例	Human	Mouse
Cell Signaling Technology	277抗体	236抗体
ABCAM	667抗体	282抗体
Proteintech	2,900抗体以上	1,977抗体以上

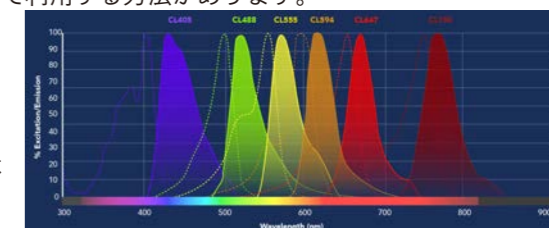


【抗体へのダイレクトラベル】

以下のような場合は、弊社で最大5種の各種蛍光物質をダイレクトラベルして利用する方法があります。

- 市販品製品やパネル抗体で適切なものが見つからない。
- 市販品にダイレクトラベル抗体が無い。
- 自社作製抗体（オリジナル抗体）を利用したい。

弊社では、BSA、グリセリンまたはアジ化ナトリウム等が含まれている抗体（ポリクローナル抗体は対応不可能）にもラベルすることが可能です。



【ストリッピングまたはクエンチングの組み合わせ】

ダイレクトラベル抗体を利用・併用することで多くの蛍光多重染色が可能となります。しかし、撮影装置側のチャンネル数の制限、蛍光色素の漏れ込み等の影響で検出する「数」の制限が出てくる場合があります。

そこで、同一組織上で染色を繰り返し（ROUND）、撮影を繰り返すことで、原理上は数十の多重染色が可能となります。そのためには前染色で固定された抗体または蛍光色素を除去する方法が必要となり、ストリッピングまたはクエンチングという手法を開発・導入しました。詳細は別冊の「**多重免疫染色受託サービス**」のパンフレットを御覧ください

	ストリッピング	クエンチング
概要	組織上の抗原と反応した1次抗体または1次抗体と二次抗体の免疫複合体を賦活化（熱、pH）または共有結合を乖離させる方法で組織上から「剥がす」ことで、次の蛍光免疫染色を可能にする手法です。	組織上の抗原と反応したダイレクト抗体の「蛍光」を消滅させて、次の蛍光免疫染色の蛍光を成立させる方法です。

【RNAscope/BaseScope 受託（染色～解析）】

biotechne / ACD

RNAscope は、すでに 3 万種を超えるカタログプローブが市販されており、それ以外のカスタムプローブを含めて受託を実施しています（前処理条件探索も受託可能）。臨床から非臨床動物を広くカバーしており、抗体を探すよりも確実に mRNA レベル（300 塩基以上）での高感度での発現の確認と定量化が可能です。抗原エピトープに依存したり、高アフィニティーの抗体を探すより、まずは mRNA の検出を実施するのも、研究速度を加速させる手段かもしれません。BaseScope はスプライシングバリエーションを検出可能で 50-300 塩基の場合に推奨しています。詳細については事前にお問合せください。弊社での試薬代理購入も可能です。

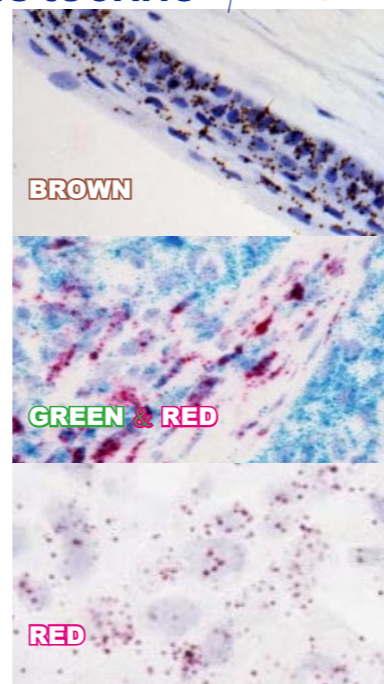
	RNAscope	BaseScope
発色系（明視野）	RED、BROWN、二重染色	RED
対象サンプル	FFPE 固定サンプル（組織、細胞）、凍結ブロック、未染色スライド標本	凍結ブロック、未染色スライド標本
準備	RNAscope® 用試薬キット*1	BaseScope™ 用試薬キット等*2
いただくもの	RNAscope® 用ターゲットプローブ*3	BaseScope™ 用ターゲットプローブ
	RNAscope 用精度管理用陰陽性プローブ*3	BaseScope 用精度管理用陰陽性プローブ

*1：BOND-RX で使用する専用キットが必要です。

*2：BOND-RX で使用するためにキット（RED 限定）および専用の追加付属品が必要です。

*3：二色の場合は、チャンネルの異なる 2 種類のプローブのご用意が必要となります

miRNAscope™ 受託準備中：mature miRNA やアンチセンスオリゴヌクレオチド等の核酸医薬を組織上で検出可能です。



再生医療関係病理

製造供給企業・研究施設から高い評価を得ています

【三次元培養モデル組織】

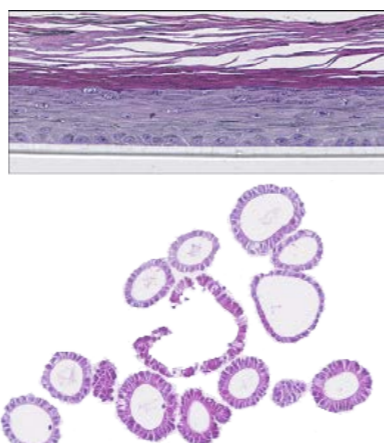
近年、研究用ヒト培養組織を用いた各種研究が開始されています。

研究用ヒト培養組織とは、ヒトの細胞を用いて体外で培養し再構築させた組織モデルです。ヒト組織に極めて類似した構造を再現できるため、実験動物や単純培養細胞の代替で用いられ、特に、再生医療、医薬品、医薬部外品さらには化粧品の開発等の各種研究に利用されはじめています。

ヒト 3 次元培養は、動物実験と比較して種差もなく、動物を使用する上での制限を受けることもありません。また、ロット間差が少なく、再現性の高い試験結果が得られるとされており、各種被験物質の毒性試験、薬理試験、皮膚透過性予測、刺激性試験や各種因子等の分子生物学的解析研究に利用されはじめています。

独自の技術で【皮膚】【角膜】【オルガノイド】【スフェロイド】【軟骨】等の 3 次元培養モデルの高品質な研究用病理標本作製と画像解析受託サービスが可能です。

標本作製、HE 染色、特殊染色、各種免疫染色、RNAscope 染色、染色標本での解析（評価含む）と、研究内容に沿った受託が可能です。詳細はお問い合わせください。



Information & Communication Technology

【Digital Pathology】

数多くの WSI（Whole Slide Imaging）の撮影経験があり、撮影データを納品しています。依頼者の数千枚の染色スライド撮影を経験したスタッフが在籍しており、標本のデジタル化保存だけでなく、解析に使える画像取得のノウハウがあります。

WSI は明視野から暗視野多重染色データを用いた解析に利用しています。

	装置仕様（弊社納品）
スライド搭載枚数	60 slides
対物レンズ	20X (10X,40X 将来装着予定・Automatic)
明視野スキャニング時間	現在 20 倍 40 倍撮影可能 60 sec (20x mode), 75 sec (40x mode)
蛍光スキャニング時間	14 minutes (including unmixing) (15 x 15mm, 40x mode and 5 colors)
Multiplex 撮影数	9 colors (Max)
搭載フィルタ	9 色 DAPI/CFP/FTTC/YFP/TRITC/mCherry/Cy5/Cy7/Em



【Digital Technology】

【Digital Data 納品】

WSI、JPEG,TIFF,PNG ファイルをクラウドでの納品に統一します。輸送時間が省かれますので迅速な納品が可能となります（セキュリティ面からの対応ではありますが、従来通りメディア納品をご希望の場合は弊社準備の新品 USB-SSD での対応となります）。以下のいずれかの方法をご選択ください。（3 以外は 10 営業日以内にダウンロードを完了ください。期限を過ぎた場合は削除します）

1. PidPort（明視野）：クラウドでの WSI-viewer を兼ね、WEB 上で WSI 画像を閲覧しながらアノテーションの記入、ダウンロード等が可能です。
2. OneDrive（SharePoint）：Microsoft 社のクラウドストレージです。弊社側で準備させていただきます。
3. box：依頼者様側で所有する特定のフォルダに保管納品させていただきます。
4. 数百枚～数千枚の WSI 撮影受託は HDD 等での受託納品です。

【病理画像クラウド】

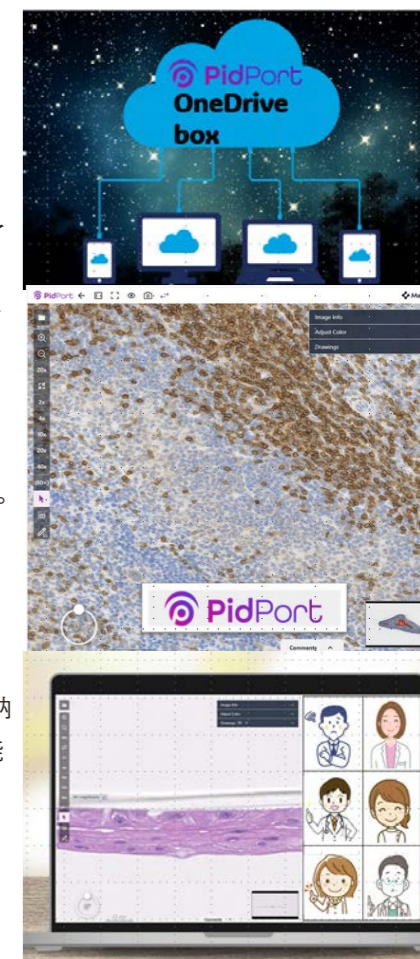
PidPort を利用した WIS 保存・閲覧・共有です。

依頼された標本のコンサルテーション、ROI の指定（相互）、コメントの追記、作図、納品前の画像確認、WSI 画像を確認しながらのスクリーンショット・ダウンロードが可能です。

※ご興味があれば、弊社から開発販売元 Medmain 社への紹介が可能です。

【WEB コンサルテーション】

PidPort または TEAMS を用いた Web ディスカッション・コンサルテーションをお受けしております。お問い合わせ時、試験前または途中等の適時タイミングで実施可能です。



病理標本の診断・解析・評価

【病理解析・評価】 臨床検体・非臨床検体

解析経験豊富なスタッフによる作業です。安全性・薬効薬理試験、学術分野での評価、各種病理標本解析を実施しています（GLP 施設ではありません）。HE 染色の評価から分子病理学的（明視野、暗視野、多重染色等）染色結果解析を数多くご依頼いただいています。

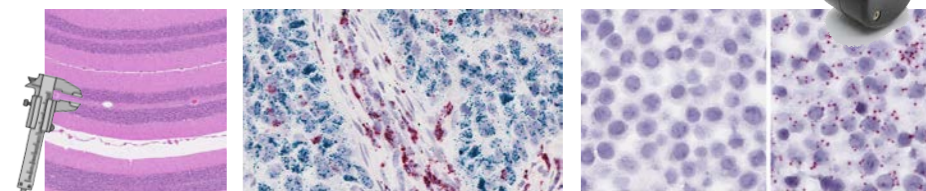
スタッフとの打ち合わせも可能です。文献に沿ったもの、研究目的に沿った解析コンサルティングも実施しています。

▶画像解析実績例：陽性細胞個数、長さ、面積

▶各種スコア・評価判定：H-score、Index 等

▶使用解析利用ソフト例

- ① Image J（Original、Fiji 版）
- ② HALO（機能限定あり）
- ③ QuPath
- ④ KEYENCE（BZ-X 用）
- ⑤ NDP viewer 2 plus etc.



【臨床病理専門医による診断・判定】

弊社が「受託作製した標本」や「お手元の臨床病理標本」を、外部医療機関所属の専門医による病理診断、解析の QC 等が受託可能です。臨床病理検体の各種研究にご利用いただけます。



空間解析ツール受託解析サービス

空間解析ツールの受託企業との業務提携です。皆様の研究に合わせた3つのツールから選択が可能です。
 弊社のサービスの特徴は、スライド標本作製（弊社実施）からのワンストップでの受託が可能です。
 NGS等のFFPE包埋ブロックや凍結包埋ブロックからの連続切片薄切受託です。
 本件の詳細に関しては、別冊の「空間解析ツール受託解析サービス」のパンフレットを御覧ください。

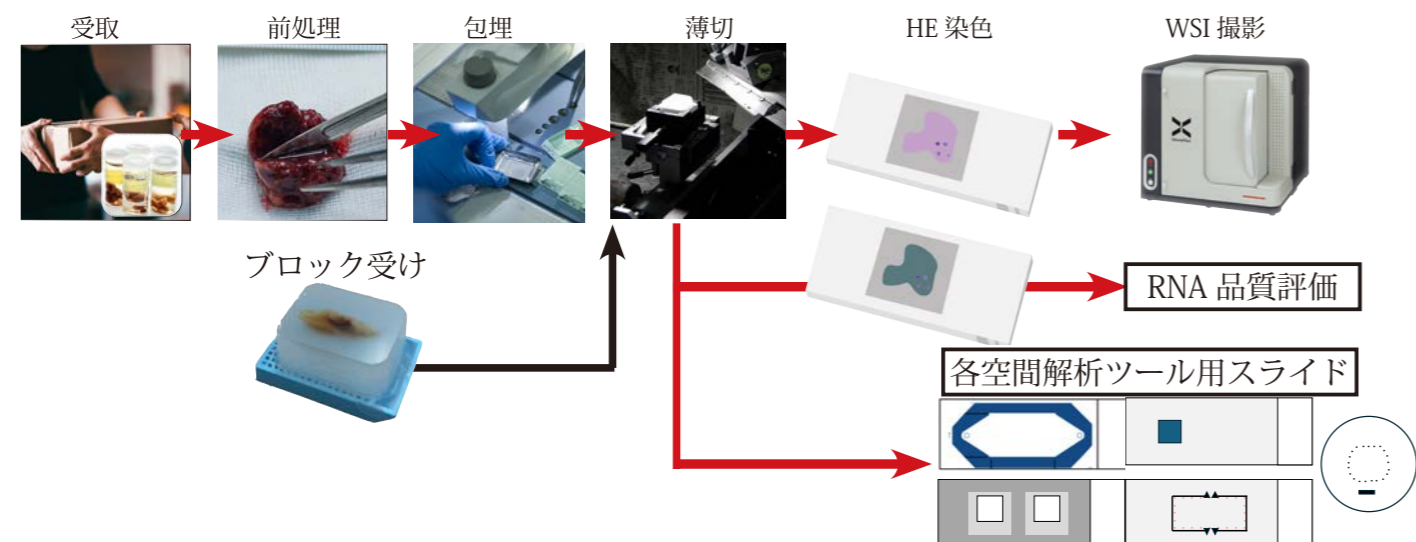
【空間解析ツールの比較】

下記表は2025年6月現在弊社で調査した概要です。詳細な内容は逐次お問い合わせください。

	空間トランスクリプトーム解析	シングルセル空間解析	
解析装置	VISIUM CytAssist	Xenium Analyzer	CosMx SMI
メーカー	10X Genomics	10X Genomics	NanoString
業務提携先（委託先）	株式会社 理研ジェネシス	マクロジェン・ジャパン	株式会社 Visualix
遺伝子発現解析	ヒト	5,000Plex	6,000Plex
	マウス	5,000Plex	1,000Plex
タンパク質発現解析	-----	-----	120Plex
検体	FFPE	○	○
	凍結	○	○
スライド種類	Fisher Scientific Superfrost Plus microscope slide	Xenium 専用スライド	Fisher Scientific Superfrost Plus microscope slide
解像度	HD 2 × 2 μm V2 直径 55 μm	30nm	50nm
解析エリア	6.5 × 6.5mm	10.45mm x 22.45mm	15mm x 20mm

【空間解析ツール用の標本作製の概要】

社は年間数千枚を超える空間解析ツール用のスライド標本作製を受託しています。
 空間解析ツール用の標本は、各ツールで使用されるスライドの種類、特性（吸着性）、組織の貼付位置（枠内、場所）の制限、再貼付の禁止等の制限が多くあります。
 専用スライドが指定されている場合は、価格が高いという以外に薄切～貼付時の技術が解析へ影響されることが報告されています。
 弊社では、空間解析ツール用の標本作製で経験豊富な技術者が対応しており、薄切プロトコルに遵守した薄切環境下で、各種制限をクリアし、アーチファクトが少ない薄切スライド標本の作製と納品が可能です。
 検体は湿臓器受け、FFPEブロック受けからでも受け入れ可能です（凍結組織は別途相談）。

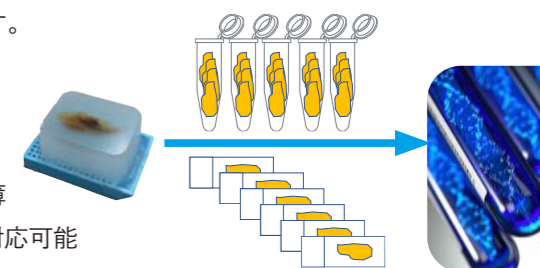


遺伝子検査関係病理

【NGS等での連続薄切標本】

NGS等のFFPE包埋ブロックや凍結包埋ブロックからの連続切片薄切受託です。

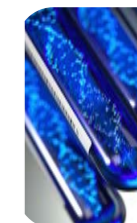
- ▶臨床検査；遺伝子検査の普及でブロックからの薄切作業が大変という時
- ▶研究用：1ブロックから数百枚、数千枚の連続薄切が必要な時
- ▶スライドガラス（専用含）への貼付、チューブへの保管を指定ください。
- ▶ブロック単位でのNGS用の薄切厚（5 μm or 10 μm）×薄切枚数、薄切標本の1枚目とN枚目をHE染色実施> WSI撮影等多彩なご依頼に対応可能



【RNA抽出～品質確認】

FFPEまたは凍結ブロック薄切切片からRNAを抽出し、その品質データの報告を行うサービス（外部委託）です。

- ▶成果物：HE染色スライド、WSI画像、RNA抽出・品質確認データ（RNA量、RIN、DV200）
- ▶試薬・装置
抽出：Maxwell RSC RNA FFPE kit & Maxwell RSC(Promega社)
品質評価：TapeStation (Agilent社)



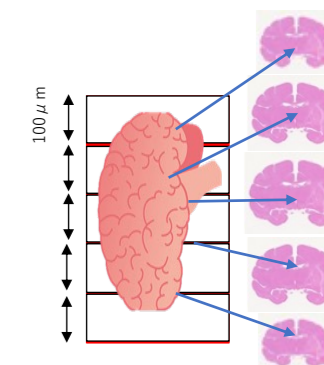
その他受託サービス

以下は、当社にご依頼の多い、特徴あるサービスのご紹介です。

【連続・亜連続薄切】

ブロック内組織の研究目的位置を確認しながら、連続または亜連続で標本作製する技術です。
 最近では、Mouseの凍結切片でのご依頼が増えてきています。

- 例▶面出し後から数mmまたは数十～数百枚完全連続組織スライドを作製
- ▶目的の組織が確認された位置から「1枚薄切>100 μm間隔を開けて>1枚薄切」をn回



【二次元培養細胞（CBMA）】

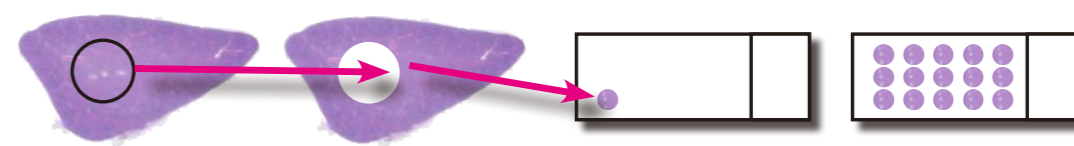
CBMA（Cell Block Micro Array）は、直径3mm×高さ3mm円柱内に培養細胞等を均一に包埋（セルブロック）する技術です。最小必要細胞量は5 × 10⁶個です。弊社従来技術比1/10量ですので、培養シャーレ使用量が1/10に減らせる事が可能です。各種培養細胞をセルブロックにして研究のコントロールブロックとして利用はいかがでしょうか。



【CTMA法】

CTMA（Clipping Tissue Micro Array）は、組織上の任意のエリアを指定いただきTMA likeの標本作製するユニークな技術です。自由な配置で色々な組織Arrayスライドを作製できる技術とお考えください。コアの大きさは直径3～6mmで任意にご指定ください。

残った組織ブロックには従来のTMAのような“穴”は空きませんので、他の研究に継続使用が可能となります。

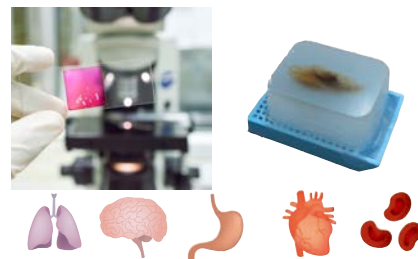


付属サービス（業務提携先とのサービスです。当社のサービスとあわせてワン・ストップ受託が可能です）

【臨床検体材料販売サービス】

臨床検体（包埋ブロック、未染色スライド等）の販売です。

海外より IRB を取得した臨床検体、日本国内バイオバンク材料を扱っています。国内で入手にくい各種疾病材料（臓器別、各種疾患ステージ、人種、年齢、性別、etc.）の販売です。研究材料や免疫染色等のコントロールとしてもご利用いただくことが可能です。研究に適した組織選定のお手伝いもさせていただきます。



【モノクローナル抗体作製（開発）】

モノクローナル抗体で免疫染色に利用できる抗体が取得できるのは数%も無いとされています。

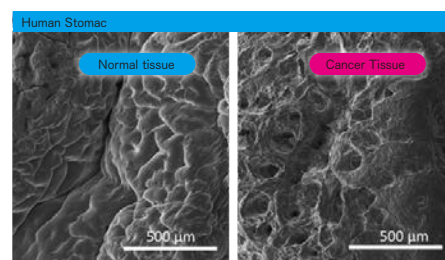
理由は材料のホルマリン固定による抗原の構造変化と抗体開発中のスクリーニングが ELISA、ウエスタンブロッティング等で実施されているためとも考えられます。世界最高レベルの抗体作製技術と当社の「抗体染色条件探索の技術」により、可能性を高めたサービスの提供を開始しました。

抗体作製は、オリジナル技術での「ラビットモノクローナル抗体作製法>高親和性抗体の取得 & Single Cell Picking Technology 法」と「マウス/ラット：DNA 免疫 - 腸骨リンパ節法>複雑な構造を持つ膜タンパク質抗体の取得」から適切な方法を事前の徹底したヒアリングをもとに、目的アプリケーションの抗体作製に適した抗原の選択・設計、スクリーニング方法をご提案させていただきます。



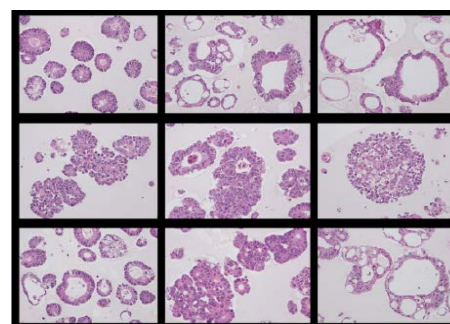
【電子顕微鏡：NanoSuit 法】

細胞・生体組織などの“ありのまま”の観察できる新しい手法です。既存の HE 染色標本、免疫染色標本のカバーガラスをはずし、試料表面に生体適合性分子薄膜を形成します。生体成分中の水分を保持するために“ありのままの形状”を走査型電子顕微鏡で観察できます。通常の電子顕微鏡の様に金属蒸着は行いませんので標本の状態を維持し、再封入保管が可能です。



【ヒト由来がん幹細胞スフェロイド細胞と PDSX^{※1}モデル試験サービス】

京ダイアグノスティクス株式会社と京都大学医学研究科との提携で、細胞株由来ではなく高品質な薬剤感受性を示すヒト由来がん幹細胞スフェロイドと PDSX を用いた試験受託サービスをご提供します。従来のがん細胞株 PDX よりも利点のあるモデルです。in vitro・in vivo 含めて弊社の病理標本作製&解析サービスを皆さまの研究開発にお役立て下さい。 ※1：Patient-Derived Spheroid Xenogra



株式会社 BREXA Advan

病理受託部

〒198-0005 東京都青梅市黒沢二丁目 979 番地の2

TEL：(0428) 85-8601

お問い合わせ body-pathology@brexa.com

または右の二次元バーコードから>>

HP <https://pathology-brexaadvan.com>



ご注意：本案内のサービスおよび装置仕様はサービス受託の際に変更される場合があります。詳しくは、お問い合わせにてご確認ください。

本資料の表現は弊社調査結果に基づいております。また、使用されている画像はイメージです。